

文学国語 学習指導案（ 1時間目 / 4時間中）

科目名	文学国語	単元名	月が象徴するものをいろいろな角度から読み取ろう。	
本時の目標	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。			
本時で取り上げる 主な言語活動	「月」をテーマとし、文学作品におけるメタファーについてジャムボードを用いてグループで協議をする。			
教材	『オツベルと象』『静夜思』、『月夜』、『月やあらむ』『三日月』	実施対象	第2学年	
本時における評価の 観点、評価 規準、評価方法	本時の評価の観点	本時の評価規準		本時の評価方法
	知識・理解	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。		記述の分析（レポートの分析）
学習活動（言語活動）	指導上の留意点			評価の実際
導入（5分） ・既習事項の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山月記」など、かつてのレポート発表の内容を確認する。</li> <li>・本時の目標を提示する。</li> </ul>			
本時のゴール：「オツベルと象」の「月」が何のメタファーになっているかを考えることで、文学作品におけるメタファーについて理解を深めることができる。				
展開（35分）	展開Ⅰ			
① 文学作品におけるメタファーを説明する。	・メタファーとは何かを説明し、例示として宮澤賢治の「オツベルと象」を読む。（作中の「月」に着目して読むことを事前に伝える）			
② 「オツベルと象」で「月」は何のメタファーなのかを考える。	ジャムボードを用いて、班ごとに協議する。協議した内容は黒板上で共有し、それぞれの班で帯的に発表してもらう。			協議シートの点検 評価の観点：知識・技能 メタファーとは何かを理解し、オツベルと象に現れるメタファーについて、適切に説明できる。
③ 作品のメッセージ性と「月」のメタファーが関係していることに気づく。	生徒の班ごとの発表を教員が帯的にまとめ、作品の伝えたいことと「月」が示しているものが関連していることを明らかにする。			※ 指導活動の評価
④ 次の時間の課題を提示する	「月」が描かれている他の作品を探究することを説明し、グループごとに作品を渡す。 李白『静夜思』、杜甫『月夜』、伊勢物語『月やあらむ』、現代詩 絢香『三日月』をそれぞれ渡し、レポートの作成を行う			
まとめ（5分） ○次の時間でレポートの作成をするための説明	○レポートの作成をする。次の時間は自習になるため、その指示をする。各班で協議できるように指示後様子を見る。			レポートの分析 評価の観点：知識・技能 オツベルと象で学んだメタファーについて正確に理解し、他の作品でどのように現れているのかを説明できる。